自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

【争未所似女(争未所能人/】				
東 柴 託 釆 旦	1493100547	事業の開始年月	令和2年2月1日	
事業所番号	1493100547	指定年月日	令和2年2月1日	
法 人 名	医療法人 裕徳会			
事 業 所 名	グループホーム にじいろ港南台			
所 在 地	(〒234-0054) 横浜市港南区港南台7-9-41			
サービス種別	□ 小規模多機能型居宅介護		登録定員 通い定員 宿泊定員	名 名 名
定員等	■ 認知症対応型共同生活介護		定員 計 エーット数	27 名 3 エット
自己評価作成日	令和7年2月10日	和7年2月10日 評価結果 市町村受理日		F10月14日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/14/index.php?

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームの弱みである、医療面、災害面、設備面に力を入れていて、ご自分ら しく長く生活していただける施設を目指している。

時代の変化を楽しみ常に成長し続けていける施設を目指している。

地域の繋がりを大切にしていて、関わる方全ての人を価値のある対等な人であると考え、少しでも人の役に立ちたいという精神を持って運営をしている。

また、一番の資源である職員を大切にしていて、職員の特徴や価値観を大切にしたマネジメントを行っている。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評句	西機 関	名	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会		
所	在	地	横浜市中区L	山下町23 日土地山	下町ビル9F
訪問	引調 査	月	令和7年2月25日	評価機関 評価決定日	令和7年5月13日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

【事業所の概要】

当事業所は、JR京浜東北根岸線・港南台駅から徒歩15分またはバスで港南台第一中学校前で下車し、徒歩1分程に立地しているRC構造の3階建て3ユニットのグループホームである。医療法人が運営母体の当事業所は、ITVカメラによる監視システムや見守り支援システムを導入している。

【整った設備と医療連携による安心安全の確保】

車いす対応の洗面台やトイレのほか、各ユニットに機械浴の設備が整い、利用者の安心・安全を確保すると共に、職員の負担軽減の配慮がなされている。港南台病院などの協力医療機関や週2回来所する訪問看護ステーションと医療連携して利用者の健康管理や看取り介護をチームで支援し実施している。

【自治会正式加入による新たな地域交流への期待】

開所以来叶わなかった自治会への加入が認められ、職員が自治会の定例会や防犯パトロールに参加したり、利用者が小中学校の下校時に横断歩道の見守り活動に参加している。継続しているバイオリン演奏などのボランティアとの交流を含め自治会加入により新たな地域交流が築けることに期待を寄せている。

【利用者主体のサービス提供による理念の実践】

管理者は、利用者が喜ぶことを職員自ら考えケアすることが理念の本質と捉えて職員に伝えている。好きな物を注文できる「イベント食」やネイルをしてお洒落したり、コロナ禍で外出が叶わなかったため職員の提案で動物園に車で出かける等、利用者が楽しめるサービスを提供し理念の実践に繋げている。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目		
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	$15 \sim 22$	8		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	$23 \sim 35$	9 ~ 13		
Ⅳ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	$36 \sim 55$	$14 \sim 20$		
V アウトカム項目	56 ~ 68			

事業所名	グループホーム にじいろ港南台
ユニット名	梟

V アウトカム項目		
56		1, ほぼ全ての利用者の
職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向 を掴んでいる。		2, 利用者の2/3くらいの
(参考項目: 23, 24, 25)	0	3. 利用者の1/3くらいの
		4. ほとんど掴んでいない
57		1, 毎日ある
利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面が ある。		2,数日に1回程度ある
(参考項目:18,38)	0	3. たまにある
		4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしてい		1, ほぼ全ての利用者が
利用有は、一人ひとりのペースで暮らしてい る。	0	2, 利用者の2/3くらいが
(参考項目:38)		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとし		1, ほぼ全ての利用者が
「利用有は、職員が又振りることで生き生きとし」 た表情や姿がみられている。		2, 利用者の2/3くらいが
(参考項目:36,37)	0	3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけてい		1, ほぼ全ての利用者が
る。		2, 利用者の2/3くらいが
(参考項目: 49)		3. 利用者の1/3くらいが
	\circ	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な	_	1, ほぼ全ての利用者が
「利用相は、健康自住、区原面、女主面で小女な く過ごせている。		2, 利用者の2/3くらいが
(参考項目:30,31)		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
62		1, ほぼ全ての利用者が
な支援により、安心して暮らせている。		2, 利用者の2/3くらいが
(参考項目:28)	0	3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない

63	 職員は、家族が困っていること、不安なこと、		1, ほぼ全ての家族と
	歌貝は、家族が四つていること、不安なこと、 求めていることをよく聴いており、信頼関係が	\circ	2, 家族の2/3くらいと
	できている。		3. 家族の1/3くらいと
	(参考項目:9,10,19)		4. ほとんどできていない
64			1, ほぼ毎日のように
	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域 の人々が訪ねて来ている。		2,数日に1回程度ある
	(参考項目:9,10,19)		3. たまに
		0	4. ほとんどない
65	アルボルマジャン エルトトロッドー シ田区		1,大いに増えている
	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業		2, 少しずつ増えている
	所の理解者や応援者が増えている。	0	3. あまり増えていない
	(参考項目:4)		4. 全くいない
66	助見は、オキオキ上倒はマニフ		1, ほぼ全ての職員が
	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目:11,12)		2, 職員の2/3くらいが
	(5)	0	3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	聯旦よど日マー利田老は北、 パップかいむん無		1, ほぼ全ての利用者が
	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う。	0	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員など目で、利田老の字佐焼は井、 バッにお		1, ほぼ全ての家族等が
	「	0	2, 家族等の2/3くらいが
	3 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おむね満足していると思う。	0	2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが

V	アウトカム項目		
56	/ / I// A		1、ほぼ全ての利用者の
	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向	\circ	2, 利用者の2/3くらいの
	を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)		3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57			1, 毎日ある
	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面が		2, 数日に1回程度ある
	ある。 (参考項目:18.38)	\circ	3. たまにある
	, ,		4. ほとんどない
58			1、ほぼ全ての利用者が
	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしてい る。	0	2, 利用者の2/3くらいが
	る。 (参考項目:38)		3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59			1, ほぼ全ての利用者が
	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。	0	2, 利用者の2/3くらいが
	(参考項目:36,37)		3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60			1, ほぼ全ての利用者が
	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけてい る。		2, 利用者の2/3くらいが
	(参考項目: 49)		3. 利用者の1/3くらいが
		0	4. ほとんどいない
61	和田老は、唐古然祖の臣唐子、カ人アイアカム		1, ほぼ全ての利用者が
	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な く過ごせている。	0	2, 利用者の2/3くらいが
	(参考項目:30,31)		3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利田老は、その時にの他们の面間に内にたる物		1, ほぼ全ての利用者が
	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らせている。	0	2, 利用者の2/3くらいが
	(参考項目:28)		3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

事業所名	グループホーム	にじいろ港南台
ユニット名	翡翠	

63			1, ほぼ全ての家族と
	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼	0	2, 家族の2/3くらいと
	関係ができている。		3. 家族の1/3くらいと
	(参考項目:9,10,19)		4. ほとんどできていない
64	77		1, ほぼ毎日のように
	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。		2,数日に1回程度ある
	(参考項目:9,10,19)		3. たまに
		0	4. ほとんどない
65			1, 大いに増えている
	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、		2, 少しずつ増えている
	事業所の理解者や応援者が増えている。	0	3. あまり増えていない
	(参考項目:4)		4. 全くいない
66	助見は、 バモバモ 1 風はずいフ		1, ほぼ全ての職員が
	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目:11,12)		2, 職員の2/3くらいが
	(5 (5)(1) - ==, ==,	0	3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	動中 2 きロー・有田型は11 - パロにいいもし		1, ほぼ全ての利用者が
	職員から見て、利用者はサービスにおおむね 満足していると思う。		2, 利用者の2/3くらいが
		0	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68			1, ほぼ全ての家族等が
	職員から見て、利用者の家族等はサービスに おおむね満足していると思う。	0	2, 家族等の2/3くらいが
	職員から見て、利用者の家族等はサービスに おおむね満足していると思う。	0	 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが

V	アウトカム項目		
56	専門は、利田本の田」の題と、 昔とし 十のお古		1, ほぼ全ての利用者の
	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向 ― を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	0	2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57			1, 毎日ある
	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。		2, 数日に1回程度ある
	(参考項目:18,38)	0	3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利田孝は、よれよりのペーフで貰さしてい		1, ほぼ全ての利用者が
	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしてい る。		2, 利用者の2/3くらいが
	(参考項目:38)	0	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとし		1, ほぼ全ての利用者が
	利用有は、喊貝が又抜りることで生さ生さとした表情や姿がみられている。	0	2, 利用者の2/3くらいが
	(参考項目: 36, 37)		3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけてい		1, ほぼ全ての利用者が
	利用有は、戸外の行きたいところへ面が行くいる。		2, 利用者の2/3くらいが
	(参考項目: 49)	0	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利田孝は 健康際理め医療品 先入売べてさむ	0	1, ほぼ全ての利用者が
	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。		2, 利用者の2/3くらいが
	(参考項目:30,31)		3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟	0	1, ほぼ全ての利用者が
	利用有は、その時々の状況や安室に応した条戦な支援により、安心して暮らせている。		2, 利用者の2/3くらいが
	(参考項目:28)		3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

事業所名	グループホーム	にじいろ港南台
ユニット名	啄木鳥	

63			1, ほぼ全ての家族と
	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼	0	2, 家族の2/3くらいと
	関係ができている。		3. 家族の1/3くらいと
	(参考項目:9,10,19)		4. ほとんどできていない
64		1, ほぼ毎日のように	1, ほぼ毎日のように
	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。		2,数日に1回程度ある
	(参考項目:9,10,19)	0	3. たまに
			4. ほとんどない
65			1, 大いに増えている
	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、		2, 少しずつ増えている
	事業所の理解者や応援者が増えている。	0	3. あまり増えていない
	(参考項目:4)		4. 全くいない
66			1, ほぼ全ての職員が
	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目:11,12)		2, 職員の2/3くらいが
	(2 3) (1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0	3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67		0	1, ほぼ全ての利用者が
17.12 17.1	職員から見て、利用者はサービスにおおむね 満足していると思う。		2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68			1, ほぼ全ての家族等が
	職員から見て、利用者の家族等はサービスに おおむね満足していると思う。	0	2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自	外		自己評価	外部評価	
己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
I	理	念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	を共有して話し合いを行い、理 念に基づいたケアを実践できる ように努めている。	事業所の理念の「高齢者に楽しい日々、明るい未来を創造してもらう為に新しい発想のもとチャレンジ精神を持ち、介護業界のビジネスモデルとなるべくアイデンティティーを持った施設にする」は、研修や面談時に確認し、休憩室に掲示して共有している。管理者は、利用者が喜ぶことを職員自ら考えケアすることが理念の実践に繋がると職員に伝えている。	
2		○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ティアを実施。また、希望者へ 福祉ネイル(有料レク)を実	港南台東自治会に加入し職員が自治会の定例会や防犯パトロールに参加したり、利用者が児童などの下校時に横断歩道の見守りに参加している。バイオリン演奏や体操などのボランティアが来所し利用者と交流している。隣家のコンビニエンスストアでの買物は、地域の人と会話を交わす場になっている。毎年、看護学校の実習生を受け入れている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知 症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向 けて活かしている	可能な限り、小中学校の下校時 横断歩道の見守り(旗振り)を ご入居者様と参加。		
4		○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	台包括支援センター・ケアプラ ザ職員、民生委員、自治会長、 隣接居宅職員へ取り組みを報告 し、情報交換を行っている。そ	運営推進会議は自治会会長、民生委員、地域包括支援センターの職員、訪問看護ステーションの職員が参加し、遇数月に開催している。事業所の活動報告や意見交換が行われ、参加者より転倒対策で「けが予防マット」使用について助言を受け検討している。会議に出席している民生委員の紹介で港南区の民生委員が多数で見学に訪れている。	運営推進会議への利用者の参加呼びかけをきっかけにして、家族にも参加して頂けるように、呼びかけの工夫をされることを期待します。

自	外		自己評価	外部評価	
己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に 伝えながら、協力関係を築くように取り組んで いる	支援センター・ケアプラザの職員へ事業所内のサービス内容や ご入居者様のご様子をお伝えしている。また、高齢者グループ ホーム連絡会へ加入し、時折行 政の方と情報交換させてもらっ	港南区高齢・障害支援課の職員とは介護保険要介護認定の更新申請などで、生活支援課の職員とは生活保護費受給者の相談などで連絡を取っている。地域包括支援センター主催のお祭りイベントに参加している。高齢者グループホーム連絡会が主催する介護保険の加算変更等の研修に参加した際には、行政の職員と情報交換する機会がある。	
6		○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象 となる具体的な行為を正しく理解するととも に、身体的拘束等の適正化のための指針の整 備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修 を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体 的拘束等をしないケアに取り組んでいる	し、3カ月に1回実施、研修について年2回実施し、委員会メン バー中心に施設全体へ意識する	指針を作成し研修を年2回開催している。身体拘束廃止委員会では、身体拘束にあたる案件の確認やスピーチロックなどについて検討している。落ち着かなくなり外出を希望する方は、傾聴により、落ち着くことを職員が共有し支援している。精神科を受診している方の薬の服用には、医師と連携して注意深く見守っている。	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について 学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での 虐待が見過ごされることがないよう注意を払 い、防止に努めている	置し、3カ月に1回実施、研修について年2回実施し、委員会メンバー中心に施設全体へ意識するよう努力している。	指針を作成し虐待が見受けられた際は、通報の 義務があることなどを研修で学んでいる。高齢 者虐待防止委員会では、センサーの見守りにつ いて、モニタリングが必要ではないかとの意見 が挙がり検討している。年1回ストレスチェック を行い、その結果により法人の医師の診断を受 ける仕組みが整っている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成 年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必 要性を関係者と話し合い、それらを活用できる よう支援している	成年後見人制度については、対象となる方へ適宜お話しさせていただいている。また、研修を行い知識を深めるよう努めている。		

自	外		自己評価	外部評価	
己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や 家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行 い理解・納得を図っている	契約時、内容について説明させていただき、都度不明な点がないか確認し、了承を得て実施している、		
10		○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並 びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営 に反映させている	をいただくことがないため、管理者、職員の方からご入居者様、ご家族様へご意見を伺っている。いただいたご意見は苦情委員会で話し合い、職員へ周知	事業所のホームページにブログを掲載して、利用者の日常や行事などの様子を家族に伝えている。行事の写真を家族に送付することもある。面会時や電話連絡時のほか、秋祭りに家族を招待した際にも意見などを聞いている。家族や本人の要望を反映して、医師に確認した後に、飲酒を伴う家族との外食の支援をした事例がある。	
11		○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や 提案を聞く機会を設け、反映させている	を行っている。ユニット毎に権限を持ってもらい、自分たちを制造している。職員の意見して事にするために、意見が出し、何気ない意見でもリーダーから管理者へ報告、共有できる仕組み	職員の意思疎通やケアの統一を図るために、ユニットリーダーが中心となってユニット会議を開催している。ユニット会議で話し合われた内容は、ユニットリーダー会議で管理者が把握する仕組みがある。年2回個人面談の機会があり、管理者は、その際に職員の意見などを聞いている。コロナ禍以降外出の機会が持てなかったことから、職員の提案で車2台を使用し金沢動物園に出かけている。	

自	外		自己評価	外部評価	
己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤 務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりが いなど、各自が向上心を持って働けるよう職場 環境・条件の整備に努めている	フト、出勤簿で把握している。 残業は事前申告制として、内容を 明確にした上で許可して業内る。 5月、11月に自己評価をして管 らい、ユニットリーダー、管理 者が評価し、賞与に反映する う取り組んでいる。また、適宜	職員が作成した個人目標をもとに、年2回評価面談を行い給与に反映している。法人には永年勤続表彰制度や介護休暇、育児休暇制度などがある。法人の方針で常勤採用が基本だが、管理者の推挙で非常勤職員が常勤職員として登用する制度がある。福利厚生の一環で夜勤勤務者には、朝夕の食事手当が支給される。また、介護福祉士資格取得者などには手当が支給される。ほかにも休憩場所が整備されているなど、職員が働きやすい環境となっている。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実 際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機 会の確保や、働きながらトレーニングしていく ことを進めている	り、報奨金を出し、資格手当の 増額を実施。また、事業所内の 伝達を条件として、事業所負担 にて外部研修の参加を促してい る。	法人にはキャリアパス制度がある。介護ソフトに外部研修の情報を掲載し受講を促している。職員は消防署で実施している普通救命講習などを受講している。ターミナルケアや接遇の内部研修を実施している。入職者の育成は経験などを考慮し、OJTを実施している。また、契約社員も同様に指導している。防災委員など各種委員会の立案実施を職員に担わせ、スキルアップできるようにしている。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機 会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相 互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上 させていく取組みをしている	法人内でのANA職員による接遇 研修の開催、医師を招いての講 義(終末期医療など)、高齢者 グループホーム連絡会への参加 をしている。		

自	外		自己評価	外部評価	
己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
П	安	・ 心と信頼に向けた関係づくりと支援	•		
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っ ていること、不安なこと、要望等に耳を傾けな がら、本人の安心を確保するための関係づくり に努めている	訪問し、アセスメントを行い ニーズを把握し、少しでも自宅 で過ごしていたころの生活を継 続できるよう聞き取りを行って いる。全員が閲覧できるよう情 報をファイリングし共有してい る。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が 困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾 けながら、関係づくりに努めている	訪問し、アセスメントを行い、 希望や不安を聞き取っている。 ご本人とご家族の思いを聞き取 り双方にとって良いケアを提供 できるように話し合いを行い、 職員に共有している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族 等が「その時」まず必要としている支援を見極 め、他のサービス利用も含めた対応に努めてい る	見学時にご本人様に必要なサービスを第一にアドバイスをしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	暮らしを共にする者同士として、 ご本人の思いを聞き、伝えられない方でも汲み取る瞬員が行られないる。 なにもかも職員が行うのではなく、 ご本人ができることはご本人にやってがら生き、支え・支えられながら生活を送れるように努めている。		

自	外		自己評価	外部評価	
己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族への連絡を適宜行い、 日々の様子を伝えるとした。 不安や、心配事を聞き取るにしている。 面会に来れない場合も、職員 で本人とようにしている。 で本人とようにしることで本人とようにしている。 また、秋祭りやクリストださい。 また、秋祭りやりていただけるように楽しんでいただけるように 共に楽しんでいる。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族様との時間を過ごせるよう にしている。また外出、外泊も ご家族様管理のもと許可してい る。施設のことを知ってもらう	事業所隣のコンビニエンスストアに買物に出かけ店員などと顔馴染みになっている。友人が来所することはほぼ無いが、電話の取次ぎ支援をしている。家族の協力を得て馴染みの場所への外出や外泊をする利用者の支援をしている。利用開始前からの生活習慣で新聞を読む方、趣味の習字や生け花を継続している方がいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立 せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるよ うな支援に努めている	孤立している方がいないよう職員が仲介して会話を促している方がいないしてはいる。トラブルがあった見見を明に入り、互い関係を見をで、良い支援したう支援している。ションをはないとのは、ションがとれるようにしている。		

自	外		自己評価	外部評価	
己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまで の関係性を大切にしながら、必要に応じて本 人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努 めている	ご退去理由は、ご逝去が多いが、ご家族様との断続的なつながりを大切にしている。 回忌等のタイミングでご退去されたご家族が連絡をくださったり、近くを通った際に施設に訪問してくださったりしている。		
Ш	そ	の人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメン	<u> </u>		-
23		○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把 握に努めている。困難な場合は、本人本位に検 討している。	職員から積極的にコミュニケーションをとるようにしている。 その中で得られた思いを職員で 共有し、ご家族様にも伝え、ご 家族様からも情報や希望を聞き 取ってご本人本意の支援ができ	意向の把握が困難な利用者が増える傾向があるため、管理者は、傾聴を心掛け、利用者の主張を把握するよう職員に伝えている。発語が困難な方は、表情を読み取り、意思疎通が図れていた以前の状況から推察し支援している。入浴時など、日常の何気ない会話から把握した内容は、申し送りノートやタブレットに入力して共有し、ユニット会議で検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活 環境、これまでのサービス利用の経過等の把握 に努めている	個人ファイルやご本人・ご家族 からの聞き取りを用いて生活歴 や興味のあることを把握するよ う努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有す る力等の現状の把握に努めている	日々の業務の中で、些細な変化 や気付きを申し送り共有するよ うにしている。また、2カ月毎 にフロア会議を開催し、残存機 能を活かした支援ができるよう 話し合いを行い実践している。		

自	外		自己評価	外部評価	
己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり 方について、本人、家族、必要な関係者と話し 合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、 現状に即した介護計画を作成している	リーダーでモニタリングを行い、それぞれの気づきが介護計画に生かされるようにしている。変化があれば、その都度サービス担当者会議を行い見直しをしている。ご本人への聞き取りとご家族来訪時に直接ご意	家族の意向や本人の希望などを確認し介護計画 を作成している。「形のある物を食べさせた い」との家族の希望には、医している。 形態を刻み食に変更し、対応している。 短間標の6ヶ月に1度、モニタリングを行い計画を見 でいる。状態の変化が見られた時は随時の看護 とでいる。状態の変化が見られたは医師の 計画を見直している。介護計画は外種 計画を見も反映している。介護計画は介護 師の意見も反映している。 と連動しており、計画と記録の整合性が取れ ている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫 を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しな がら実践や介護計画の見直しに活かしている	電子記録により、些細な事でも 記録に残し、共有できるように している。朝夕の申し送りで口 頭でも伝えることで素早く確実 に統一したケアを行えるように し、また、その内容を基に、会 議を行い見直すようにしてい る。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人、ご家族のニーズを1番 に考え、協力医療機関の病院の 医師や看護師、管理栄養士等と 連携し、個別の対応ができるよ う努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方にボランティアに来ていただき、生活を楽しんでもらえるよう努めている。		

自	外		自己評価	外部評価	
己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
30	14	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納 得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築 きながら、適切な医療を受けられるように支援 している	地域包括ケア病院から月2回の 往診、訪問歯科から週1回の往 診にきてもらっている。また、 以前より通っていたかかりつけ 医への受診も、ご家族様または	利用開始前からのかかりつけ医への受診も可能だが、現在は全員が協力医療機関の内科医の訪問診療を月2回受診している。週1回歯科医が歯科衛生士を帯同して来所し、希望者の義歯調節などを行っている。週2回看護師が来所し健康観察などを行い、法人の他施設から月1回、管理栄養士が来所し、栄養指導をしている。訪問マッサージの支援もしている。精神科など家族が対応した受診結果は介護ソフトに入力し共有して	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報 や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等 に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や 看護を受けられるように支援している	港南台病院や訪問看護ステーションへ24時間連絡できる体制をとっており、相談、報告がいつでも出来るようにしている。 週2回訪問看護ステーションの看護師が往診で訪れ、適切な処置を行える仕組みを作っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるよう に、また、できるだけ早期に退院できるよう に、病院関係者との情報交換や相談に努めてい る。又は、そうした場合に備えて病院関係者と の関係づくりを行っている。	港南台病院、地域包括ケア病院 と最低月1回、ご入居様の情報 交換を行い連携を取つよう努め ている。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早 い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事 業所でできることを十分に説明しながら方針を 共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取 り組んでいる	ている。また、状態の変化が あった際に、主治医、薬剤師、 看護師と連携をとり、都度状況	契約時に家族などに「看取り介護指針」をもと に説明している。医師が回復の見込みがないと 診断した際は、医師の説明のもと家族などに意 向を再確認して「ターミナルケアの同意書」を 作成している。看護師が中心となって利用者と 関わり、職員と連携し看取っている。亡くなっ た方の見送りは利用者の状況により様々だが、 内々で送ることが多い。	

自	外		自己評価	外部評価	
己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職 員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行 い、実践力を身に付けている	事故対応の研修やマニュアルの整備を行い、職員に周知はしているが、定期的な訓練は行っていない。		
35		○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず 利用者が避難できる方法を全職員が身につける とともに、地域との協力体制を築いている	ており、出来るだけ多くの職員 が参加している。また、年1回 の地域防災訓練に参加し、地域 の防災情報を確認し連携してい る。災害BCPについて、職員へ の周知に努めている。 現在、常温で長期保存可能な食 材導入予定。	災害時の業務継続計画 (BCP) を作成している。 災害のリスクを把握し備蓄リストを作成し、自 家発電機やラジオなどを備蓄自庫や各ユニット の倉庫に保管している。現在、常温で長期保存 可能な食材の導入を予定している。火災を想定 した自主訓練や消防署立会いの避難訓練を今年 度は4月と9月に実施し、消防署からCRP人形を貸 し出してもらえることなどを確認している。訓 練に近隣からの参加が得られていないため、自 治会会長に、協力を仰ぐ予定としている。	
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバ シーを損ねない言葉かけや対応をしている	よう、職員同士で声を掛け合い、心掛けるようにしている。 ご利用者様は人生の大先輩であり、自尊心を傷つけるようにする 動やケアを行わないようにする ため、職員都合にならず、ご本 人様の気持ちを第一に考えるよ	利用者への尊敬の念を大切にしている。入浴時の同性介助の希望にはできる限り応じている。 耳が聞こえ難い方のトイレ誘導はジェスチャーで表現しプライバシーを損ねないようにしている。自立した方の排泄確認はさりげなく行っている。SNSなどへの利用者の写真の掲載は、契約時に家族から了解を得ている方のみとし、了承を得られなかった方が写真に映り込んでいる時は特定されないよう配慮している。	

自	外		自己評価	外部評価	
己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、 自己決定できるように働きかけている	ご本人様の希望をくみ取れるように、日頃からコミュニケーションを取るように心掛け、 YES・NOの返答だけにならないよう選択肢を提案するなどして、可能な限り希望に近づいた自己決定ができるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切にし、その日をどの ように過ごしたいか、希望にそって支援してい る	1日の流れはあるが、ご本人様が望まない場合は無理強いはせず、自分らしく生活できるよう、ご本人のペースに合わせて支援するように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよ うに支援している	衣服の選択を行っていただいたり、愛用している化粧品等を使い続けることを、日々の生活に取り入れられるよう支援している。月に1回訪問理美容があり、本人の希望に沿った髪型、髪色にできるようにしている。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの 好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒 に準備や食事、片付けをしている	だき、楽しみな食事になるように支援している。また、レクを行い、ご利用者様が食べたいと思う物を食べられる日をつく、一緒に買い物にいき、その日のおやつを決めるなど支援を行っている。そして、季節毎	職員がみそ汁とご飯を作り、配食専門業者から届く献立の食品を湯煎し提供している。夜勤の職員が利用者と同じ夕食と朝食を食べるの年間がの固さや味を確認できる。イベントで祝いて新書画に沿って誕生日会はケーキで祝いていまりではゼリーなどのおやつを作り提供と利している。概ね3ヶ月に1度、寿司や天ぷらいと利用者が好みの物を個々に頼める「イベント食」を上でいる。利用者の楽しみとなるように支援を事が利用者の楽しみとなるように支援している。	

自	外		自己評価	外部評価	
己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習 慣に応じた支援をしている	食事形態の見直しを行い、ご本 人様にとって食べやすいもう。 を、ご自身で食べられるように 支援している。ご本人の好みを 把握し、食が進まない時も一定 量の食事や水分が確保できるよ うにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている	訪問歯科からの指導を受け、適切な口腔ケアを行えるよう支援している。口腔ケア時はその人にあった方法で、口腔内の清潔保持ができるようににしている。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひと りの力や排泄のパターン、習慣を活かして、ト イレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っ ている	し、タイミングを合わせて、一 人一人にあった介助を行っている。トイレでの排泄を目指し、 車椅子の方でもトイレを利用していただけるよう支援している。また、ご自身で交換が可能 な方は、居室やトイレにパット	利用者の排泄パターンを把握し、定時誘導や落ち着かない様子などを捉えて声掛けし、トイレでの排泄に繋げている。現在、自立している方の半数は布パンツを着用している。夜間、人の手を借りることを気遣い排泄のリズムが整わない方の居室にポータブルトイレを設置したところ、ひとりでの排泄が可能になった改善事例がある。眠りスキャンの導入で失禁の多かった方が熟睡できるようになった事例がある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工 夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に 取り組んでいる	毎日の体操を行い、体を動かす機会を増やしたり、水分をとっていただくことで薬に頼らず自然排便ができるように心掛けている。 便秘が続いた場合は、腹部マッサージを行い自然排便を促している。		

自	外			外部評価	
己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴 を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯 を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援 をしている	まった曜日はあるが、ご本人が 望まない場合は、日時の変更を 行っている。可能な限りご本人 の希望に沿った環境で入浴で き、かつ、入浴日の間隔が極端 に空いたり近かったりしないよ う日々の調整を行っている。	各ユニットに機械浴を備え、1階は浴槽に寝たまま入れる機械浴機を設置している。入浴を好まない方には強要せず、対応する職員や日を変えて入浴を促している。「風呂」という単語さえ苦手で、入浴を極度に好まない方には、家族の了承を得て清潔保持のために必要な入浴回数を決めて支援している。何気ない職員との会話のほか、好みのシャンプー、入浴剤などの香りを楽しんでもらい、くつろいだ気分の中で入浴できるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中でも、傾眠されている方 を		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、 用法や用量について理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報ファイルを用いて、処方されている薬をいつでも確認できるようにしている。処方が変わった場合は、職員で情報を共有し、また、服薬時には、声出し確認・ダブルチェックを行うことで誤薬、落薬、飲み忘れを防いでいる。		

自外			自己評価	外部評価	
己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、 一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人の力に合わせて、季節を感じられる作品を作ったり、ご利用者様が主体となって行えるような昔の遊びをして職員が教えてもらうなどし、楽しんでいただけるよう支援している。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出 かけられるよう支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本人の希望を把握 し、家族や地域の人々と協力しながら出かけら れるように支援している	れるよう支援している。遠出は できていないが、近隣の公園へ 行き、花見やお茶階を行ってい る。また、隣のコンビニへ一緒 に買い物へ行き、お好きなもの	散歩や外出が介護計画にあがっている方は、天 候や職員配置、本人の希望を見極めて支援をし ている。車いすを使用する人も事業所から公園 まで平坦な道を選んで、散歩している。車2台を 使用して数人で花見や金沢動物園へで出かけて いる。事業所隣のコンビニエンスストアで利用 者自ら支払いをする買物や家族との外食を支援 している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解 しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支援している	ご家族様と相談のうえ、ご本人で管理できるよう支援している。また、近くのコンビニやスーパーへ同行し、買い物ができるよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手 紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の希望があれば電話ができるように支援している。また、年賀状や暑中見舞いなど、季節毎にご家族様へお手紙やはがきをだす機会を作るようにしている。		

自外			自己評価	外部評価	
己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
52		○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、 浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混 乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温 度など)がないように配慮し、生活感や季節感 を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫 をしている	りや、季節を感じられるような ものや花を飾ったりしている。 エアコンと加湿空気清浄機を使 用し、温度管理を行い、毎日清 掃し清潔を保つようにしてい	夏は27度、冬は24度を目安に温度設定している。冬季は加湿器を設置して温湿度管理もしている。大きな音に敏感な方には座席の配慮を、太陽光が気になる際には、カーテンを閉めるなどして、利用者が快適に過ごせるようにしている。季節行事に合わせて松飾りや雛人形などを飾り四季を感じられるようにしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った 利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所 の工夫をしている	その時の気分によって、馴染みの方と話せたり、一人でゆっくり過ごせたりするよう、席の配置を工夫している。		
54		○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相 談しながら、使い慣れたものや好みのものを活 かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫 をしている	ていたものを持ち込んでいただき、足りない物はご家族に依頼している。ご家族様との写真や、ご本人の作品を飾ったりし	事業所側でエアコン、照明器具、洗面台、カーテンを備えている。居室の様子は様々でベッド、タンス、家族などの写真、鎌倉彫、アイドルの本などの好みの物を持ち込んでいる。利用者と相談して導線を確保し、安全に過ごせるようにしている。週1回の寝具交換時に職員が念入りに掃除をして清潔を保ち、利用者がくつろげるようにしている。	

自	外		自己評価	外部評価	
己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わ かること」を活かして、安全かつできるだけ自 立した生活が送れるように工夫している	リビング、トイレ、お風呂場に は手摺を備え付けが送れるよう に大付けが送れるような がががははをいるような を書からとまった紙をはない になる。まうた紙をする。 は、トイレがわたりして、 は、大人を掲いる。 は、大人を掲げる。 は、大人を は、、本人様と は、 で全に過ごせるよう 導線の確な。 とに過ごせる。		

目標達成計画

事業所名

グループホームにじいろ港南台

作成日

令和7年10月9日

【目標達成計画】

	ACCIONATION OF				
優先順位	項目番号	現状における 問題点、課題	目標	目標達成に向けた 具体的な取組み内容	目標達成に 要する期間
1	3	運営推進会議へ多職種の参加を求める。主として、利用者、ご家族へ参加を目指す。	加していただく。	参 利用者に参加のお声掛けを する。また、会議議事録を ご家族へ郵送し参加を促 す。	12 וילם
2					
3					
4					

- 注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。
- 注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。